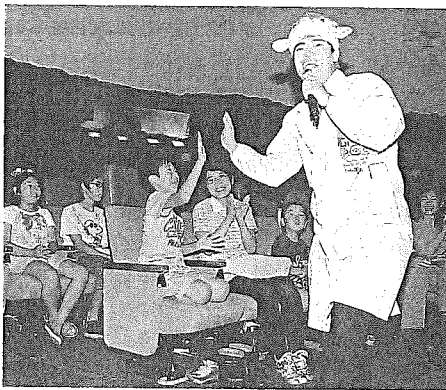


親子でタコや宇宙学ぶ

天文科学館 200人、さかなクンと

「明石たこ大使」をなクンとともにタコや務めるタレントのさかなクンについて学ぶ「さ



さかなクンと交流する子どもたち。市立天文科学館

かなクンのギョギョックとビックリー宇宙のお魚教室」が8日夜、明石市立天文科学館(人丸町)であり、親子約200人が参加した。市が「明石のたからもの」と位置づけるマダコや同館について、子どもたちに知ってもらうと企画した。

さかなクンは明石のタコの魅力を独特の口調で解説。「タコの寿命は1年ほどしかない、育てるのはすギョク(すご)難しい」などと話した。また、同館職員がプラネタリウムで魚にまつわる星座を紹介すると、子どもたちは映し出された星空に見入った。

神戸市立井吹西小学校5年の倉成七虹さん(11)は「さかなクンの話を聞いて、明石タコがもっと好きになった」と笑顔を見せた。

(藤原昇平)